

## 植調協会だより

### ◎ 人事異動

平成17年1月1日付 命 研究所 技師 橋 本 仁 一

### 編集後記

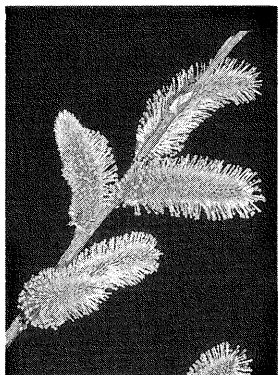
あけましておめでとうございます。

2004年は日本では中越地震をはじめとして台風による大雨の被害など大災害の年でした。また、世界的には年末のスマトラ島沖地震による津波の大災害。亡くなった人が21万人余と未曾有の惨事となりました。亡くなられた方々には慎んで哀悼の意を表するとともに被災地の皆様には心からお見舞い申し上げます。

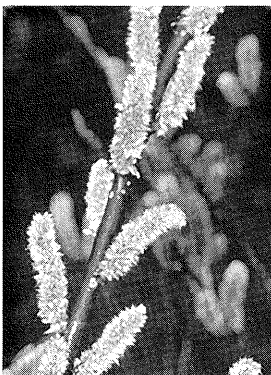
2005年の年頭にあたり、今年は世界中が平和で明るく、楽しい年であることを祈願いたします。

地球の温暖化は恒常化しているようです。1月の大寒とい

うのに関東では春の暖かさの日が続き、花屋さんの店先には春を告げるネコヤナギが並んでいます。ところでネコヤナギは雌雄異株で雄株の方が花穂が大きく美しいので店頭に並べられているのは全て雄株の枝です。このネコヤナギの花には「反向日性」という面白い性質があります。春早く、川岸のネコヤナギ



▲ネコヤナギ雄花穂



▲雌花穂

の枝が陽光を浴びると花穂は南に面した方が大きく膨れて開花するので花穂の先端は反対側の北の方向を向きます。このことからネコヤナギは「方向指示植物」「磁石の木」ともいわれていて、早春の山登りで道に迷ったときは谷側に下りてネコヤナギを探し、花穂の

先が示す方向を確認めると、その方向が北だと分かるという例え話があります。

この花穂が「反向日性」ということを知らないでネコヤナギを生花にしたとき、思わぬ失敗をすることがあります。つまり、ネコヤナギを生花にして飾るとき、窓側（光がさす方向）と反対の方向に花穂の先端が向くようにして飾らないといけません。若し逆の窓側つまり光が来る方向に花穂の先を向けて飾るとネコヤナギは面くらって花が狂ってしまいますから注意が必要です。このように植物の性質を知って、植物を観察すると一段と興味が湧いてきます。

㊦

財団法人 日本植物調節剤研究協会  
東京都台東区台東1丁目26番6号  
電話 (03)3832-4188 (代)  
FAX (03)3833-1807

編集人 日本植物調節剤研究協会 会長 小林 仁  
発行人 植調編集印刷事務所 広田 伸七

発行所 東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会  
植調編集印刷事務所  
電話 (03)3833-1821 (代)  
FAX (03)3833-1665  
E-mail: hon@zennokyo.co.jp

印刷所 新成印刷(有)

平成17年1月発行 定価525円(本体500円+消費税25円)  
植調第38巻第10号 (送料 270円)